

A portrait of a man with dark hair, wearing a grey pinstripe suit, white shirt, and red tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression. The background is white.

文教常任委員会にて質疑 「小中高生の可能性を広げる学校の間を」

創造性を育む教育ICT環境の実現に向けた「GIGAスクール構想」

石川 国が進める「児童生徒1人1台コンピュータ」施策、いわゆる「GIGAスクール構想」について、令和5年度までに、各市町村教育委員会がICT環境整備に向け進めるとしている。県内市町村の財政力の違いで整備状況に差が出ないかを懸念をしている。

子ども教育支援課長

今回、LAN整備については2分の1、端末整備については1台当たり4.5万円上限で国庫補助がある。それによって市町村間の財政力の違い等の課題が全てクリアし切れるわけではないと認識しているが、**端末は、国庫補助内4.5万円の機器が用意される状況**である。

石川 端末導入後の更新費用や保守などの維持費、**環境整備費用はどのようになるのか。**

子ども教育支援課長

維持費は国庫補助の対象となっていない。県教育委員会として、今後発生が見込まれる更新費用や維持費についても**補助対象とするよう国に要望していく。**

石川

端末導入後、教員側への指導と、授業の在り方など指針は検討されているのか。

子ども教育支援課長

現在、具体的な指針を県教育委員会として**作成する予定はない。**しかし、将来の授業の在り方や教員研修については、非常に大切な点と考えている。教員がICTを活用することが目的になり過ぎてはいけないと考え、基本的には教員と子どものやり取り、子どもが個別に進められる個別学習、子ども同士の協働などが授業の中でうまく組み合わせることが基本と考える。今後、**効果的かつ効率的に授業を進めるための研修を、市町村教育委員会と検討しながら充実させていく。**

石川

今後PC端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテムとなると考える。市町村教育委員会と連携を取り、将来の使い方をしっかり想定し**小中高生の可能性を広げる学校の場**となるよう、教員指導、授業の在り方を含め検討されるよう要望する。

他、専門高校の在り方・県立高校の定員の在り方・教職員採用についてなど質問しました。詳しくはホームページをご覧ください。

県政報告(タウンニュース掲載)

2020年4月3日



石川ひろのり

1968年11月3日生まれ／横浜市出身／サラリーマンを約20年経験／参議院議員政策秘書、衆議院議員 笠ひろふみ秘書など経験／麻生区在住

○県民に密着した事業を
知事は「県財政が厳し

民主フォーラム
県政報告vol.27

『**新型コロナ対策など令和2年度予算。県税の使い方を考える**』

神奈川県議会議員 石川ひろのり

県議会では3月、令和2年度予算審議が行われ、昨秋約700億円の財源不足が見込まれ、県財政は例年以上に厳しい状況にありましたが、減収補てん債(地方債)の発行や税制調整基金の取り崩しなどで予算確保がなされました。

○新型コロナ感染対策
県では緊急に36億円の補正予算を組み、介護施設等に配布するマスク、船感染者移送費として1億円超、患者入院費等に2千7百万円など計1億8千万を執行しました。県専用ダイヤル運営費や防護服調達など、県が担当し負担すべき費用も確かにあります。しかし、緊急時とはいえ「移送費」や「入院費」は国に全額負担を求めるべきと訴えています。

○県民に密着した事業を
知事は「県財政が厳し

石川ひろのり
事務所
麻生区百合丘1-5-4
米山ビル202
TEL 044-455-6611
FAX 044-455-6614
http://www.hiro-shikawa.jp

県LINE 公式アカウント
新型コロナ対策
パーソナルサポート(行政)
体調や年齢、持病など状態を入力いただくとあなたの状態にあった情報を提供致します。詳細は神奈川県HPで。

い中、未病改善や気候変動への対応など重要施策を反映できた」としています。しかし、施策の費用対効果は曖昧さがあり、効果をより明確にすべきです。私は、子育て支援や地域課題など生活密着事業を優先すべきと提案し続けています。

『新型コロナ対策など令和2年度予算。県税の使い方を考える』

活動報告

高石神社・琴平神社「節分祭」

2月、麻生区内で毎年恒例の「節分祭」が高石神社・琴平神社で開催されました。今年は令和初の「節分祭」となり、両神社とも多くの方で賑わっていました。今年も皆さまと「福は内」の掛け声とともに豆をまかせていただき、無病息災・五穀豊穡を願い、病気や災いのない一年が過ぎよう祈願しました。このような日本の伝統文化を今後も大切にしていってほしいと願います。



早野地域 道路舗装改善

3月、昨年末にご要望いただいた早野地域の道路標示工事が終了したとの報告を受け、現場を確認して参りました。この道路は、王禅寺地域から環状4号線につながる抜け道になっており、交通量も多く、自動車同士の接触事故も起きています。今回、道路舗装を変えることで事故防止につながることを期待いたします。



工事前



工事後

徹底的に
現場主義

2020里山フォーラムin麻生



2月、麻生市民館で開催された「2020里山フォーラムin麻生」に伺いました。麻生区にはいくつかの里山がありますが、多くの皆さまの多種多様な活動によって自然が守られています。麻生区の魅力の一つには、都心に近いながらも豊かな自然が残る環境があります。会場では小学生による里山の発表もありました。この里地・里山の素晴らしさを次世代に繋いでほしいと思います。

アルテリッカしんゆり美術展

3月、新百合21ホールにて開催された「アルテリッカしんゆり美術展」に伺わせていただきました。今年で12回目を迎えるこの美術展は、迫力ある絵画や書、いけば花、写真など麻生区在住の作家の方々の多くの作品が展示されていました。会場入口には、川崎市立高等学校第28回合同芸術祭受賞の油彩作品も展示もあり、麻生、川崎の美術力を感じる個性あふれる美術展でした。



石川ひろのり プロフィール

1968年11月3日生まれ 横浜市出身。旅行会社、飲食業を約20年間経験。「行政とはサービス業である」との言葉に感銘を受け、37歳で衆議院議員岩國哲人事務所へ転職。その後、参議院議員公設秘書を経て、政策秘書資格を取得し参議院議員政策秘書を務める。衆議院議員 笠ひろふみ秘書、2015年4月神奈川県議会議員に初当選。2019年4月22,811票の付託を頂き2期目の当選。麻生区在住。引きこもり支援相談士。
趣味：ジョギング(湘南国際マラソン大会6年連続出場。自己ベスト記録3時間29分28秒) 家族：妻、子供一人
好きな言葉：「石の上にも3年」初めて社会人になる時に父親から言われ「どんなに苦しくても耐えること。そこで初めて全体が見える」という言葉を今でも忘れない。

石川ひろのりの活動報告・委員会質問など詳しくはHPまたはFacebookにてご覧いただけます。

石川ひろのり 検索

ボランティアスタッフ募集

石川ひろのり事務所では随時ボランティアスタッフを募集しています。広告用チラシ折り、ポスター掲示、街頭演説のお手伝いなど短時間でもかまいません。皆様のご支援とご協力をお待ちしています。▶連絡先：TEL 044-455-6611

石川ひろのりの活動への ご支援(個人献金)のお願い

石川ひろのりの活動にご協力賜りたくご案内させていただきます。なお、寄付は税額控除の対象となりますので、ご相談くださいますようお願い申し上げます。
▶石川裕憲後援会【郵便局】払込取扱票にて(口座番号 00200-7-52777)【銀行】三井住友銀行 新百合ヶ丘支店 普通 口座番号 6902358

石川ひろのりへの
ご意見・ご質問をお待ちしております。
FAX 044-455-6614

ご意見など

お名前

TEL

ご住所